鎌倉市
公共施設の再編について
鎌倉市では、現在、公共施設の老朽化が進み、今後集中して必要となる施設の建替えや改修などに係る多額の費用確保が課題となっています。
今ある公共施設を残す、さらに充実させるのではなく、機能を維持していくために複合化や集約化などの「公共施設の再編」に向けた取組を進めています。
市民の皆さま一人ひとりが課題について考え、「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」という財産を子どもたちに残していきましょう。
「由比ガ浜こどもセンター」複合化の事例
●４つの施設を複合化
（村木座保育園、稲瀬川保育園、子育て支援センター、障害児通所支援施設）
●津波避難機能も備えた施設として整備しました。
【事業概要】
●平成29年度（2017年度）開設
地域の子育てを広くサポートする施設です
「市営住宅」集約化の事例
●６つの市営住宅を１か所に集約化（Ａ～Ｅ棟の全５棟）
（深沢住宅、笛田住宅、梶原住宅、梶原東住宅、植木住宅、岡本住宅）
●民間事業者のノウハウを活用して、整備を進めています。
【事業概要】
●令和３年度（2021年度）事業契約
●令和６年度（2024年度）
第１期事業としてＡ棟のみ供用開始予定
こんな取組を進めています
ご自由にお取りください。
公共施設を取り巻く現状・課題
課題１：公共施設の老朽化
課題２：変化する人口
課題３：更新などに係る多額のコスト
公共施設再編の推進に向けた取組方針
市民の皆さまの声（市民アンケート結果）
令和３年度（2021年度）に公共施設の再編に関する市民アンケートを実施しました。鎌倉市の公共施設の再編に関するご意見を一部紹介します。
▼アンケート設問①
鎌倉市の公共施設マネジメント（再編）に向けた取組をご存じですか。
知っている 19%
知らない 81%
▼アンケート設問②
公共施設の維持・管理にはある額の経費がかかることから、市では、施設の複合化・集約化を進め、経費の削減、施設の効率化を進める方向性をまとめています。
１つの公共施設に複数の機能を持たせる施設の複合化・集約化について、あなたの考え方に最も近いものを１つ選んでください。
▼回答②
「積極的に実施すべき」及び「施設の種類や需要を考慮し、実施すべき」の割合の合計は90%を超えています。
課題解決に向けて
現状・課題を踏まえると、全ての公共施設を更新・維持することは困難です。そのため、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない」ことを前提として、新しい時代にあった価値を提供できるよう公共施設再編計画」を策定し、令和５年度（2023年度）に改訂しました。現在、その計画に基づき再編に向けた取組を進めています。
こんな方法で再編を進めていきます！
複合化・集約化
異なる種類の施設や同じ機能を持つ施設をひとつにまとめる
ひとつにまとめる
建物の更新にあわせて複合化
長寿命化
経年により老朽化した建物を将来にわたって長く利用できるようにする
老朽化
建物の機能・性能を求められる水準に引き上げる長寿命化
将来にわたって長く使い続ける
官民連携
施設の整備や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する
鎌倉市が直営
指定管理者制度の導入・民営化など
民間事業者が運営
期待できる効果
将来的な市民・利用者のニーズの変化などに対応し、持続可能な公共サービスの実現が可能に！
その他に期待できる効果
耐震化
利便性向上
耐震性確保 防災機能の向上
新たな交流の創出
バリアフリー化
省エネルギー化